

平成 23 年 7 月 11 日
北陸電力株式会社

志賀原子力発電所周辺の放射性ヨウ素、放射性セシウムの検出について（続報）

当社は石川県及び志賀町との安全協定に基づき、従来から毎月実施している大気浮遊じん（発電所敷地内のモニタリングポストMP-2、MP-6）を分析した結果、微量の放射性セシウムを検出しました。

現在、志賀原子力発電所 1、2号機は停止しており、放射線モニタ等に有意な変動はないことから、志賀原子力発電所に起因したものではありません。

放射性物質 採取地点	ヨウ素 131	セシウム 134	セシウム 137	試料採取期間
発電所敷地内 （大気浮遊じん） （モニタリングポスト MP-2）	検出されず	3.2×10^{-2} [ミリベクレル/m ³]	4.1×10^{-2} [ミリベクレル/m ³]	平成 23 年 6 月 1 日 0:00 ~7 月 1 日 0:00
発電所敷地内 （大気浮遊じん） （モニタリングポスト MP-6）	検出されず	2.7×10^{-2} [ミリベクレル/m ³]	3.7×10^{-2} [ミリベクレル/m ³]	平成 23 年 6 月 1 日 0:00 ~7 月 1 日 0:00

以上